

2016年4月

- 2日 上野連合自治会役員会
- 7日 豊中市立上野小学校入学式臨席
豊中市立第11中学校入学式臨席
- 10日 春の全国交通安全運動～交通安全フェアinとよなか～
- 17日 上野園芸市
- 20日 全国若手市議会議員の会研修会
- 23日 無所属の会 議会報告会
- 24日 上野連合自治会定期総会
- 25日 幹事長会・農業委員会 ※
農業委員会親睦会
- 30日 前向きサロン(市政報告会)

2016年5月

- 3日 ふれあい緑地フェスティバル
- 7日 上野連合自治会役員会
- 12日 幹事長会・議会運営委員会 ※
- 14日 第11回太鼓亭杯・第7回佐野カップ開会式
- 15日 憲法記念日市長表彰式 ※
- 17日 豊中駅前まちづくり推進協議会定例総会
- 19日 6月定例会 本会議・幹事長会 ※
- 20日 幹事長会 ※
- 21日 南部コラボセンター地域説明会
上野いきいきフェスティバル
- 24日 幹事長会・議会運営委員会 ※
6月定例会 本会議 ※
- 26日 6月定例会 本会議・幹事長会 ※



- 27日 路面下空洞調査探査車見学
- 28日 うえの歩こう会
- 29日 上野連合自治会定例会・熊野田公民館市民体育祭
- 30日 幹事長会・議会運営委員会 ※
6月定例会 本会議 ※

2016年6月

- 1日 6月定例会 本会議 ※
- 2日 議会棟壁面緑化事業
- 4日 上野連合自治会役員会
- 5日 東豊台公民分館市民体育祭
- 6日 環境福祉常任委員会 傍聴 ※
- 9日 豊中市私立幼稚園PTA連合大会
建設水道常任委員会 傍聴 ※
文教常任委員会(神原在籍) ※
- 10日 「18歳選挙権 何が変わるの? 未来でしょ!!」
～模擬投票体験 夏に向けて～
- 12日 議員交流会
- 13日 総務常任委員会 傍聴 ※
- 17日 とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ15周年記念事業
- 18日 うえの歩こう会
- 19日 保育所開設地域説明会
- 20日 6月定例会 本会議 ※
- 21日 6月定例会 本会議(神原個人質問) ※
- 22日 6月定例会 本会議 ※
- 24日 民生委員・児童委員大会 ※
- 29日 とよなか市民環境会議総会



収支報告

2016年4月～6月分

神原事務所 2016年4月～6月分

収入	
議員報酬等(注1)	¥1,953,600
期末手当(注2)	¥1,554,900
合計	¥3,508,500
支出	
会派会費	¥30,000
所得税	¥447,406
議員団費	¥9,525
事務所費用へ	¥900,000
供託金(注3)	¥257,175
住民税・社会保険料	¥425,055
生活費	¥1,439,339
合計	¥3,508,500

(注1) クリーンランド議会
農業委員会報酬含む
(注2) 635,000×2.025×1.2
(注3) 役職加算分
(注4) イベント参加費・カンパ
(注5) 勉強会参加費など

収入	
前月繰越残高	¥1,503,553
神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
その他(注4)	¥10,000
合計(1)	¥2,413,553
支出	
家屋費(イベント会場)	¥222,200
光熱費	¥14,001
通信費	¥19,189
印刷費	¥29,929
備品費	¥0
消耗品費	¥9,450
交通費	¥0
人件費	¥447,500
その他(注5)	¥73,661
合計(2)	¥816,930
次月繰越(1)-(2)	¥1,597,623

豊中の未来を描こう!!

かんばらこういちろう
神原宏一郎の
つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

発行 2016年7月

VOL. 117

政治は
クリーンで
なくては
いけません。

豊中市議会議員
無所属

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

6月定例会 個人質問と答弁

① 中学校での昼食の実態について～なぜ、中学校給食は利用されないのか!?～

Q. 今年の2学期から全ての学校で中学校給食の利用が可能となるが、現時点での中学校給食の利用率は?

A. 現時点での給食の利用率は約8%となっている。

Q. 中学校給食を導入するためにかった費用と毎年の運営費はいくらか?

A. 配膳室や物品の整備など、導入費用として約3億円。
給食システムの運用や調理に係る委託料など、今年度の運営経費は約2億3千万円を想定。

Q. 中学校給食の利用率が低調な要因をどのように分析しているのか?

A. 生徒からは、お弁当をもらい好きなものを買う方が良いとの意見を聞いており、一因と考えている。

Q. 今年の2学期から、中学校給食は就学援助の対象となるが、就学援助の対象とする理由は? 生活保護受給世帯は既に中学校給食を自己負担なく食べることが出来るが、利用率は?

A. 栄養バランスに配慮された食事をとる機会が増え、子どもたちの健やかな成長を促進できると考えている。
生活保護を受けている子どもたちの利用率は約20%。

Q. 生活保護受給世帯や就学援助対象世帯の生徒には、自己負担なく中学校給食が摂取できるよう配慮しているが、利用率からすると反映されていない。中学校給食が就学援助の対象になることの周知徹底や利用促進を積極的に図る必要があるのではないか?

A. 7月下旬に発送予定の就学援助の決定通知に、中学校給食の利用が可能となる旨の文書を同封し、改めて保護者に利用を促す。また、中学校給食の目的を達成するためにも制度の周知徹底や利用促進を図ることは重要であると認識しており、一層の取組みを進めていく。

② 自転車の安全利用、交通マナーの向上について～自転車保険の加入義務化がスタート!!～

Q. 豊中市内におけるここ数年の自転車関係する交通事故の件数は?

A. 豊中市内の自転車関係する事故件数は、平成25年が438件、26年が371件、27年が349件。

Q. 今年4月に大阪府が自転車条例を施行したが、何が、どのように変わったのか?

A. 大阪府の自転車条例により、学校長による交通安全教育の実施、高齢者のヘルメット着用の努力義務、損害賠償保険の加入義務が課せられた。

Q. 7月から自転車保険の加入が義務化されるがその詳細は? 保険に入らずに自転車を利用した場合の罰則は? 保険未加入の自転車が事故を起こした場合、その自転車を販売した事業者は責任を問われるのか?

A. 自転車保険の加入義務化で、自転車利用者は、交通事故により生じた被害に係る損害を補償することができる保険に加入する必要がある。保険の種類としては、個人賠償責任保険、共済、団体保険、TSマーク付帯保険など。保険未加入の罰則規定はなく、保険未加入の自転車が事故を起こした場合、その自転車を販売した業者が、責任を問われることもないと認識している。

Q. 豊中市として自転車を利用する市民及び市職員の保険加入率の実態調査の実施とともに、自転車損害賠償保険加入率の数値目標などを示して取組みを進めていくべきではないか?

A. 自転車を利用する市民及び職員の保険加入率は把握していないが、実態調査について、交通安全教室や講習会での簡単なアンケートを実施できるよう、警察と協議し検討する。保険加入については、市民全員が加入すべきものと考えており、市独自の数値目標の設定などは考えておらず、職員に対する保険加入の義務付けも考えていない。

インフォメーション

明日への架け橋
(前向きサロン)

日時: 7月30日(土)

午前: 10時～12時

場所: 堀田会館2階第1料理室
(阪急バス豊中高校前から徒歩5分)

参加費: 無料

主催: 前向きひろば

お問合わせは 06-6854-5664 まで

参加者みんなで情報共有・意見
交換出来ればと思っています。
気軽にご参加下さい!!

発行元 無所属の会(神原所属会派)

〒561-0881 豊中市中桜塚 3-1-1 ☎6858-2525(代表)

神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階

TEL&FAX: 6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

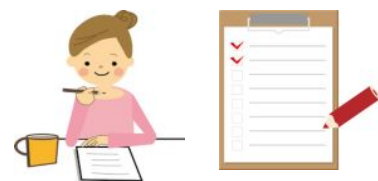


◆なぜ、中学校給食は利用されないのか～まずは現状把握をすべき！！◆

利用率は約8%と低迷！！この現状は導入前から予想できたのでは？

下表は、中学校給食導入前に実施されたアンケート結果です。
導入前から、給食に対する子どもたちのニーズは低く、保護者のニーズは高かった！！

	弁当がよい	選択制がよい	全員給食がよい
小学生	28.2%	64.0%	7.8%
小学生保護者	4.1%	45.9%	50.0%
中学生	31.5%	59.7%	8.8%
中学生保護者	4.2%	58.9%	36.9%



中学校給食開始後の保護者や中学生の意見も厳しいものです。

（保護者の意見）

- ・給食は利用したいが、子どもからお弁当を作ってほしいと言われるとお弁当を作ってしまう
- ・お弁当への愛着から給食に切り替えることに抵抗感がある
- ・当日申し込みが出来ないなど、利便性が悪く利用しにくい

（中学生の意見）

- ・お弁当代をもらい好きなものを買う方がいい
- ・配膳室からの受け取りや返却に時間がかかり、昼休みの時間が短くなる



就学援助世帯、生活保護世帯の生徒への中学校給食の利用促進を！！

栄養バランスに配慮された食事をとる機会が増え、子どもたちの健やかな成長を促進できるとの考えから、中学校給食が就学援助の対象費目となります。現在、就学援助を受けている中学生は全体の約19%、多い学校になると**40%以上**の生徒が就学援助を受けています。また、生活保護を受けている生徒の中学校給食利用率も約20%と低い状況にあり、就学援助世帯や生活保護世帯の保護者に対し、積極的に利用を促していくべきです！！

導入費用3億円、運営経費2.3億円、極めて低い事業効果の改善を！！

導入費用3億円、運営経費2.3億円をかけて実施しながら、**利用率が約8%**と低調な状況では中学校給食の事業効果は極めて低いと言わざるを得ません。また、このような状況で、中学校給食が偏った栄養摂取や朝食の欠食など、生徒の食生活の乱れの改善に寄与していると言えるでしょうか。中学校給食が導入されても偏った栄養摂取を続けている生徒が少なからずいることが推察されます。まずは、どれくらいの生徒がお弁当を持参しているのか、パン販売、コンビニ等を利用している生徒はどれくらいいるのか、現在の中学生の昼食の実態を調査するべきです！！



神原宏一郎の個人質問の全文はホームページをご覧ください。
http://www.geocities.jp/positive_square/
皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。
メールアドレス：young_spiritjp@yahoo.co.jp



中学生の登校中のコンビニ等への立ち寄りを許可することは妥当か！？

	可否
認めている (14中学校)	1中、2中、4中、6中、7中 8中、9中、11中、12中、13中 14中、16中、17中、18中
認めていない (4中学校)	3中、5中、10中、15中
学校内での昼食販売あり (8中学校)	2中、3中、4中、8中 9中、11中、14中、15中
学校内での昼食販売なし (10中学校)	1中、5中、6中、7中、10中 12中、13中、16中、17中、18中



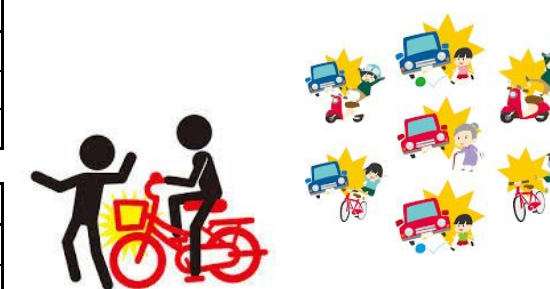
各学校で登校中のコンビニ等の立ち寄りに関する調査をしたところ、現在、14の中学校でパンやおにぎりを購入するための立ち入りを認めていると回答しています。これまでの地域やPTA等の取組みを重視し、購買部等でのパン販売の実施を中止すべきとは思いませんが、教育委員会として、中学校給食を導入したのであれば、登校中の生徒にコンビニ等への立ち寄りを認めるのではなく、お弁当を持ってくる事が出来ない生徒については、購買部の活用か中学校給食の利用に限定することを検討するべきではないでしょうか！！

◆増加する自転車加害者による交通事故～厳罰化も検討が必要では・・・！？◆

下表の通り、全国的に自転車に関する事故件数は、減少傾向にある一方、**自転車加害者となる事故件数は増加傾向**にあります！！

平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
16281件	15702件	14571件	13228件	12222件
583件	518件	438件	371件	349件

平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
1052件	1059件	1069件	1066件	1125件



＜神原の提案＞

改正道路交通法や大阪府自転車条例の施行前から、市として様々な取組みがなされ、傘差し自転車や逆走自転車は減少しているように感じています。しかし、市の啓発で交通ルールを守る方がいる一方で、危険な違反行為をする人は未だにおり、違反する人の多くは、市の周知や啓発ぐらいでは、全く聞く耳を持たないと市も認識しています。そういった人に対し、啓発だけをしていても改善は期待できません。罰則も含めてもう少し厳格な対応を市として検討するべきです！！

また、来月から大阪府自転車条例により、自転車保険の加入義務化が施行となります。まず、市民の保険加入状況を把握するため、交通安全教室や講習会等でアンケート調査を実施するべきです。さらに、啓発する側の市職員や教職員が保険に未加入ということでは、全く説得力がありません。そこで、市職員の保険加入の実態調査を行い、市職員や教職員、とりわけ、自転車通勤をしている職員に対しては保険加入を徹底するべきです！！